

わたしたちが運ぶのは未来です

運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局

清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号

TEL 清水<0543>52-4146代

「第52回海の記念日」

記念式典を開催

「第52回海の記念日」の記念式典（海の記念日清水港実行委員会委員長・鈴木与平氏）が七月二十日、清水市日の出町の港湾会館清水市日の出

「第52回海の記念日」の記念式典は、午前十時に始まり、君が代斉唱の後主催者



を代表して鈴木与平実行委員会委員長が挨拶され、続いて来賓の方々から祝辞（宮城島清水市長外）が述べられました。

このあと海事功労者表彰式に続いて、記念撮影、祝賀パーティーでなごやかに歓談されました。

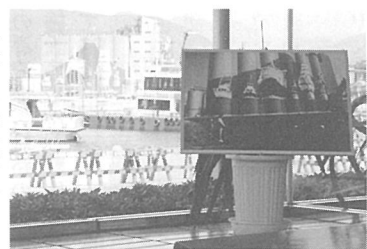
なお、この「海の記念日」が七月二十日に定められた理由は、明治九年、明治天皇が東北巡幸の帰途、汽船明治丸で青森から横浜にお着きになった日にちなんだものです。

豊かな海辺 フォトコンテスト

平成三年に港湾海岸防災協議会の主催（後援…運輸省港湾局）により実施された「第三回豊かな海辺フォトコンテスト」の入賞作品展示会を、六月十一日（木）から四日間、日の出センタービル（通称マリニビル）のロビーにて開催しました。

展示会は、各港湾建設局及び港湾・海岸管理者等の協力により全国四十六箇所を巡回りで開催するもので、今回静岡県下では初めての開催となりました。初日には静岡放送の取材をきっかけ、当日夕方のニュースとして当所の二反田運輸事務官も特別出演？して放映さ

れ、また土・日には家電製品の展示との共演となり好評を博しました。



実物を背景にした
「作品：つり」

取材に来た若いテレビカメラマンの目には、入賞作品がどのように見えたのでしょうか？カメラワークから推測すると、女学生が浜辺で戯れる様子を撮影した「躍動感」と「若さ」が溢れる作品（題名…女学生）がお気に入りの方でした。展示期間中も同様の写真の前で思わず立ち止まる男性が多かったのが印象的でした。一方、作品中唯一のモノクロ写真には、長い時間を費やして撮影しました。実はこの作品は、「みなとまち清水」をイメージしたペイント絵が描かれた穀物サイロの前で釣りを楽しむ人を撮影したものであり、さすがプロのカメラマン！ご当地の作品は見逃しませんでした。やはり清水っ子にもこの写真は目を引くようで、かなりの見学

者が足をとめ、またマリンビ
ルから眺望できるアングル写
真であることに気付くと思わ
ずロビーの窓際へ駆け寄り、
納得げに相づちをうつ姿も見
受けられ、何かほのぼのとし
たものを感じさせました。

話は変わりますが、台風等
の天候状況もテレビという媒
体によりデュアルタイムに家
庭に放映されます。テレビの
映像を「動」とすれば、写真
は「静」、撮りたい被写体の
一瞬を正直に捕らえたものが、

港湾工事のイメージアップ

ちよつと前の流行語に“6K”
がある。

建設業界では、人材確保、
労働時間の短縮、職場の改善
等労働環境の改善が大きな課
題となっており、この対応に
迫られている。

港湾局としても、港湾(海岸
工事において、地域環境及び
労働環境の改善を図るべく
「工事のイメージアップ作戦」
を開始した。

工事現場のイメージアップは、
地域との積極的なコミュニケー
ションを図りつつ、そこで働
く関係者の意識を高めると共
に作業環境の改善を図り、港
湾工事の円滑な執行に資する
ことを目的としてその内容に
ついては、次のとおりです。

写真となります。

台風接近の影響と思われる
高波が防波堤に砕け散る写真
(港を守る防波堤)は、想像
を絶する海の暴威の一瞬を捕
らえた「静」の醍醐味といえ
ると思います。感受性豊かな
子供さんに人気の作品でした。
以上が展示会の様子でした。
が、次回のフォトコンテスト
作品がまた清水で展示され、
多くの人の目に触れることを
希望しつつお別れします。

(リポーター 明 楽元)

○ 施工のために必要な仮設備のI・U

工事施工に必要な機械
設備、用水・電力等の供
給設備、仮囲い、仮橋

○ I・Uのために設置する施設

完成予想図・工法説明
図・工事工程表の掲示板、
フラワーポット・見学路・
椅子の設置、ライトアッ
プ・緑化の実施、カラー
舗装、敷石及び見学者專
用駐車場等の設置

○ 営繕施設のI・U

現場事務所、試験室、
↑倉庫及び材料保管場所
↑監督員詰所

○ I・Uのために設置する施設

トイレの水洗化、シャ
ワー設備、現場の休憩所・
意見箱の設置

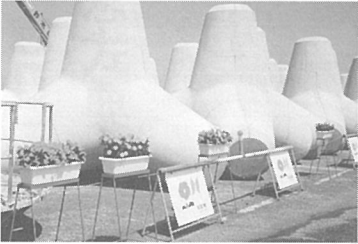
また一方では、労働時間の
短縮に移行了した場合の実施方

静岡県のみなとシリーズ(1)

浜名港

今
切

浜名湖の歴史は浜名湖口の
地変と密接な関係がある。浜
名湖は東海の要衝にあり、そ
の風光の美は遠い昔から旅人
の目を喜ばしたことであろう。
しかるに室町時代末期の明
応と年号が改むる頃から、東
海道沖に大地震発生の兆が現
われて、湖口の地変と深いか
わりが起きている。中世



フラワーポット、花柄バリケードを設置したI・U工事

策を検討するため、完全週休
2日制モデル工事も実施して
いる。当所では現在、次の工
事について、イメージアップ
工事、完全週休2日制モデル
工事を施工しています。
今後の発注工事においても
同様に、より豊かな創造性を
求めて、ゆとりのある港湾工
事を実施していきたいと思っ
ます。(工務課)

区 分	工 事 件 名	実 施 内 容
イメージアップ 工事	清水港外港防波堤(改良)消波工事	フラワーポット、 花柄バリケード
	下田港防波堤(E区)本体工事	フローティングドック壁面 に図柄シート
	下田港防波堤(E区)消波掘付工事 (その2)	シャワールーム
	下田港防波堤(E区)消波掘付工事 (その3)	工事説明掲示板
完全週休2日制	清水港外港防波堤(改良)基礎・根 固及び消波掘付工事	

「今切」の地変である。
史実として明応二年(一四
九三)二回の強震、同七年京
都・紀伊・熊野も相当強く感
じる大地震を起し、荒之崎
(新居)の浸蝕が記録されて
いる。これがこの地方を襲っ
た最初の津波を伴った地震だ
ろうと考えられている。

なお、地震活動は終息せず、
この地震から二ヵ月後の大地
震の津波により前沢(今の舞
阪町)の西は決壊し、荒之崎
の土砂も崩壊し、一朝にして
潮水湖中に浸入し今切を生じ

た。さらに永正七年(一五一
〇)の大地震により湖口は一
層拡大してしまった。このよ
うに今切の欠損は明応七年
(二四九八)に始まり永正七
年(一五一〇)に完成された
とみられている。

沿革

浜名港は江戸時代、浜松の
城下町の繁栄と相俟って海運
の便も開け、大小の船舶も続々
と入港し、回船問屋も百余軒
に及び隆盛を極め、江戸、大
阪間の一大要港であった。か
くて明治に至り鉄道・国道の
架橋に伴う潮流の阻害、干満
による湖水の流れ、今切口の
土砂、そして天竜川の漂砂等
の影響を受け船舶の出入りは
一層困難となる。

戦後昭和26年地方港湾の指
定を受けた浜名港は築港の要
請もあり港口につきでた東西
の導流堤、航路の確保、係留
施設等着々と整備が進められ
てきた。



新居関所 (浜名郡新居町)

概要

港湾区域内に東海道本線、東海道新幹線、国道一〇、国道一〇号バイパスと走る特異な港で、東側に舞阪漁港(第二種)が含まれ、また今切口までは二級河川都田川とも重複している。二千トン級の船舶を対象とした港の建設に目標を置き、船舶の安全航行のため導流堤による航路の安定を図っている。

史跡

江戸時代、新居と対岸の舞阪の間は海上約一里の今切の渡しがあり旅人にとってはやっかいな、しかし、幕府にとっては自然の要塞で、箱根の関所と相對して上り下りの通行人の検査を行った。

関所の取り調べは「入鉄砲に出女」と言われるように、女性の通行と武器の移動に対して厳しかった。特に女性に対しては通行手形がなければ通さなかったことはもちろん、男装とおぼしき者は「あらため女」がいて、これを取り調べた。関所内には通行手形など多数の文獻や遺品が保存されており、江戸時代の交通をうかがい知ることが出来る。関所建物として現存している全国唯一のもので、昭和三〇年国の特別史跡に指定されている。

(ウォーター・フロント窓口)

永年勤続職員表彰
おめでとうございます

永年勤続表彰を受けて

経理課長 西藤重嗣

昭和三十七年に入省して三十年が経ちました。この間、先輩諸氏始め同僚、後輩の皆様のお力添えによりなんとか無事勤め、このたび永年勤続表彰の榮譽を受けることができ、心から感謝しております。

振り返ってみるといろいろあった三十年間でしたが、失敗や苦しみも総て止揚することができ悔いはありません。未だ浅学非才の身、これからも健康に留意して誠心誠意職務に専念し、できるだけ足跡の残る仕事をしたいと思っています。今後共よろしくお願ひ致します。

30年の変化

管財係長 土屋敏子

- (一) 三〇年間での職場の変化は港のイメージチェンジ。荷役、倉庫等の汗臭い労働の場から豊かなウォーターフロントへ。
- (二) 一九七五年の国際婦人年をきっかけとしたため、女性の職場進出。
- (三) 第三次産業革命ともいえる職場のOA化の波。

(四) 週休二日制による余暇活動の充実。

私が就職した昭和三十七年には考えられないことばかりです。三十年間ずっと勤め続けたから、これらの社会の動きにもついていけるんだなあと思いますが、続けられたのは、一緒に働く皆様、家族のおかげと深く感謝するものです。



6月1日 祝賀会(於:事務所会議室)
左から西藤(30年)、所長、土屋(30年)、大野(20年)

記念コンサート

御前崎工場 事務係長 大野昌彦

「第九」って知っていますか、「大工」じゃなくて「第九」ですよ、こんなギャグでお馴染のそれはベートーヴェン作曲・交響曲第九番二短調 Op.125「合唱」です。

勤続二十年の記念にと、その第九の公演をする合唱団を探したところ、焼津市文化センター開館七周年記念「市民参加の第九交響曲」公演の合唱団員募集があり早速応募し、

寄稿

その三
白龍丸

元職員 白石 良

清水港にディーゼル機関を有する曳船では始めて配属された船であると記憶する。

当初は機関の回転方向を変え前後進する型式であり、エアチャージに苦労したものである。又、船長も前後進を最低に押さえた回数で操船するので大変だったと思う。

改造し可逆クラッチを設けた。機関台に備ったクラッチと違うので機関振動と船体振動の差異のために故障が多発し修理が多かった。その後だんだん補強改良され故障もなくなった。機関長として乗船した時は白龍丸も10年以上

ました。

今年、いつもと一味違うコンサートになると思っています。

公演は、平成四年十二月二十日(日)焼津市文化センター大ホール、指揮・秋山和慶、独唱・松蘭まゆみ(ソプラノ)・岩森美里(アルト)・五十嵐修(テノール)・松本進(バリトン)、演奏・東京交響楽団、合唱「市民参加の第九」合唱団で開催します。

焼津の町で高らかに歌いたいと思います。Freude

働いて居りシリンドラーの摩耗もかなりひどいものであり乗船2年目の定期修理時にボーリングを行った。

これで先ずは一安心と思つた直後起重機船に配置替えになった。起重機船がおいでおいでと呼んでいるようだ。新造曳船清興丸の配属により白龍丸は清水港から姿を消した。

起重機船「駿河」の杭打作業

「駿河」での杭打は当初から計画されリーダー取付部の構造も良く出来ており、8号起重機船に比べるとリーダーの取付、取外しははるかに楽になっていた。

富士見岸壁の斜杭は、確かな記憶ではないが杭長32mに設計されていたと思う。

船の構造上杭長22mの杭を立打込みし、10m杭を現場溶接で継ぎ足し打込んだ。ほとんどの杭が所定まで打込むことが出来ず天端は切断してそろえたものである。

或る日、所長が杭打状況を見に来るので杭の入りが止まっても打続けてほしいとの話があった。

打込み不能の実態調査だな、ハンマーから火を吹くまで打つてやろう。試験打を行えばクッションも取替えしなければな

らないのだから。打撃を開始
そして杭の入りが止まる。打
続ける。ハンマーは加熱のた
め通常の潤滑油だけでは、ラ
ムの上りが減少するので、オ
イルをラムが下がった時に頭
から注油する。クッションは
黒焦げになり破片が飛び出す。
全員に消化器と散水準備を
指示する。

ハンマーがぱっと火だるま
になる。それと消火、クッ
ションに注水する。試験的に
ここまで行ったのは一回限り
であるが、直営ではここまで
やれたものである。

この杭打作業に先だち一つ
の思い出がある。

台船に杭の積込み、杭の吊
込み、立込み等(特に立込み
の時に杭を抱き込む装置がな
いのでリーダーと杭が離れぬ
ようにワイヤーロープで大廻
しを行う)の作業は鳶職の経
験を持った者を作業長とした
陸上員数名が当たる。

作業長適任者から、白石さ
ん、俺はボースンをやりたく
ない、職名も作業士であるか
らと云う内容の話があった。

作業長で鳶職経験者はいた
けれど年齢的に無理がある。

その辺を話し、職名につい
ては課長に申込むと彼を納得
させた覚えがある。

起重機船作業は船の単独作
業ではないので常に陸上員と

も表裏一体となしていたもの
である。

「駿河」は自航船なので船
長はいたけれど、作業時は自
然と操業長が全指揮を取って
いた。船長には全く申し訳な
かったと思っている。(次号
に続く)

工場だより

下田工場

下田ペリーロード

下田市が開国の町づくりの一環として、弥治川の平滑川左岸で整備を進めていたペリーロード事業が、今年四月にはほぼ完成されました。

延長百二十六メートルを石畳で舗装されたペリーロードは、歴史の潤いが漂う周辺の景観にマッチしており、ちょっとした散歩道となっています。この川沿いの道は、幕末下田港にやってきたペリー提督一行が、日米和親条約締結のため了仙寺へ行進した小路ともいわれており、また、その頃対岸は、遊郭があった処で、今ではその建物もありませんが当時を偲べれます。

平成四年度には、ガス灯九基が設置されるとのことで、了仙寺と下田公園の間をプラリと歩くには格好の通りです。

下田へ訪れましたら、一度歩いてみては、とお勧めします。
(安西良治)

御前崎工場

御前崎港整備促進期成同盟会が活動開始

静岡県中西部の産業・物流拠点を目指して御前崎港の二十一世紀に向けた港湾整備を促進する目的で、「御前崎港整備促進期成同盟会」が、去る四月二十三日発足した。

メンバーは県中西部地区の首長、議会議員、商工会議所会長、商工会会長で構成され会員は九十一名、会長に下村源一御前崎町長が選出されている。

現在、御前崎港の周辺では、東名牧ノ原インター建設工事、第二東名金谷インター建設、静岡空港建設計画などが進行



完成したペリーロード(下田市)

中で、陸・海・空の新たな交通ネットワークが構築されつつあることから本会の活動に期待が寄せられている。

このような状況下、本会の初仕事として六月九日に静岡県知事並びに当局清水港工事事務所長へ平成五年度予算の増額確保、御前崎港の港湾計画を二十一世紀に向けた活力ある計画に早期に改訂を行うよう陳情が行われた。

(御前崎工場長 富居)

清水港の動き

- 6月 1日 運輸省設置記念日
- 5日 永年勤続職員表彰
- 5日 4年度清水港振興会定期総会
- 10日 三重県港湾建設協会清水港視察
- 11日 御前崎港振興会通常総会
- 11日 豊かな海辺フォトコンテスト入賞作品展示(マリナビルロビー)
- 15日 静岡県防災会議
- 18日 大井川港湾振興会総会
- 7月 5日 第8回清水マリインフェスティバル
- 8日 第8回清水港湾機関長会議
- 14日 労働省・運輸省地方機関連絡会議清水港内視察
- 20日 海の記念日式典

作文・図画募集

テーマ 未来の港
応募資格 小学校四・五・六年生
募集作品 作文部門及び図画部門
応募先 〒105 東京都港区虎ノ門一丁目一八 琴平会館ビル
(社)日本港湾協会
締切期限 平成四年九月三十日
応募要領についての問い合わせは、
〇五四三(五二) 四一四六
池谷まで。

編集後記

夏真っ盛りです。あなたの夏のプランは順調に進んでいますか。家族揃っての帰省、友達と行くリゾート地……etc、楽しい計画がいっぱいのことと思います。

また、暑い夜のドライブは爽快な気分になること受け合いです。でも、解放感からの暴走事故は夏場に多く見受けられます。スピードの出し過ぎは大きな事故につながります。

マナーを守り、ゆとりのある安全運転に心がけ、楽しい夏の思い出を作りましょう。
(編集委員会)